

| | |
|-------|-------|
| 指導教員名 | 後藤こず恵 |
|-------|-------|

| | | | |
|------|--------|-----|--------|
| 活動区分 | 高品質飛躍型 | 連携先 | 企業 |
| | 高業活性化型 | | 特別民間法人 |

～ 神戸商工会議所支援 焼き鳥のんちゃんプロジェクト ～

活動の様子



焼き鳥のんちゃん 店舗



発表会

企画・活動概要

焼き鳥のんちゃん(神戸市・中央区)の活性化策立案に取り組んだ。焼き鳥屋の経営について代表および日頃より経営についてアドバイスをされている神戸商工会議所の経営支援員から講義を受ける。その後、神戸市・中央区の店舗で試食を行った上で若者向けのメニューについてアイデアを出し、中間プレゼンを行った(審査員4名)。また、自分達でも試作を行い、その結果に基づいて最終プレゼンテーションを実施した(審査員4名)。

経緯・背景・目的

神戸商工会議所より新たに大学との連携事業を行う際の協力要請があり、専門基礎演習の授業を履修している学生との協働プロジェクトがスタートした。現在ののんちゃんの顧客層は年配の方が多くなっており、若者が利用しやすい店づくりについて考案することを目的とした。



フェスでの様子

取り組む課題

のんちゃんの料理を実際に試食し、また店の内装なども分析しながら若者が当該店舗に出会い、リピート客になってくれるかをグループごとに検討した。その際、実務者である辻野さんおよび神戸商工会議所経営支援員の高上さんから適宜意見をもらうことで相互の理解を深められるようにした。

本学(学生)の役割

学生は焼き鳥のビジネスについて理解し、今までになかったメニューを考案することを求められた。また、のんちゃんのブランドをいかに高めることができるかという観点についてもしっかりと意識することが必要であった。後日、当該授業の取り組みの派生として公益財団法人神戸ファッション協会主催のNADA SAKE KANPAI FES(10月28日 於:KIITO)においてベトナム人留学生4名が考案したオリジナルメニューを販売した。



フェスでの様子

活動結果・成果・学生が成長した点・学生が身につけた能力

このプロジェクトを通じて、学生は飲食店の経営者の抱える課題についての理解が深まり、またその解決策を共に考えようという当事者意識が芽生えた。さらに、自分達で実際に試し、解決策を探ることを通してより具体的で実効性のある課題解決策の提案を行うことができた。プレゼン資料の作成やグループワークもコミュニケーション力の向上に寄与した。



インスタグラムへの投稿

指導教員および関係者の紹介

<指導教員>



商学部
マーケティング学科
准教授
後藤こず恵(コトウコズエ)
<専門・担当科目等>
ブランド戦略論 マーケティングリサーチ

ブランド戦略におけるシンボルと聴覚的要素の関係について研究している

<関係者・企業等>

有限会社辻野商店
代表取締役
辻野美千代(ツジノミチヨ)

神戸三宮に焼き鳥屋を営む会社 炭火焼でこだわりの鶏料理を提供している